

2. かるまいまち 軽米町バイオマス産業都市構想の概要

岩手県軽米町、人口 約0.9万人、面積 約2.5万ha

構想の概要

軽米町は、基幹産業である農林業、特に畜産から発生するバイオマス資源などを有効活用した資源循環の社会を構築し、新たな地域産業の形成と雇用の場の創出などの実現により、町の活性化を目指す。

1. 将来像

- ① 町民誰もが恩恵を感じる地域の新たな産業としてのバイオマス利用が推進されるまち
- ② バイオマスエネルギーが生み出す経済効果が町内に循環するまち
- ③ エネルギーの町内利用と災害に強いまち
- ④ バイオマス活用産業の担い手の育成と資源循環のまち

2. 目標(10年後)

廃棄物系バイオマス: 85%→98%
 家畜排せつ物: 90%→発電や堆肥化の推進により99%を利用
 建築発生木材等: 57%→堆肥、燃料利用を推進し87%を利用
 未利用バイオマス: 24%→62%
 ほ場残さ: 40%→堆肥・燃料として66%を利用
 間伐材・林地残材: 10%→堆肥、燃料として59%を利用

3. 事業化プロジェクト

- ① 家畜廃棄物等による堆肥等製造事業
 ・家畜排せつ物から堆肥、肥料等を製造する
- ② 可燃ごみバイオ固形燃料製造事業
 ・家庭等からの可燃ごみを利用して固形燃料を製造する
- ③ 家畜廃棄物による発電等事業
 ・鶏ふんの直接燃焼により発電を行う
- ④ 家畜・木質廃棄物等によるバイオガス製造事業

4. 地域波及効果

経済波及効果: 43.8億円、新規雇用創出効果: 34人
 化石燃料代替量: 電気 47,250MWh/年、熱 836.52 GJ/年
 化石燃料代替費(電力及びA重油換算): 300,000 千円/年
 温室効果ガス(CO₂)排出削減量: 2,266 t-CO₂/年
 地域エネルギー自給率: 電気 77%、熱 70%
 廃棄物の削減量: 42,280 t/年
 森林の保全: 間伐量 380 t/年、間伐材搬出量 36 t/年

5. 実施体制

- ・町が主体となり「軽米町資源循環の町づくり推進協議会(仮称)」を設置、構想全体の進捗管理や各種調整、HP等情報発信を行う。
- ・町では「軽米町環境審議会」を設置している他、庁内関係課で構成する「庁内バイオマス産業都市構想連絡協議会」を設置し、取組を推進する。

6. その他

- ・平成27年に農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律に基づき「軽米町再生可能エネルギー発電の促進による農山村活性化計画」を策定。
- <主な関連計画>
- ・新軽米町総合発展計画(2019.1)
- ・軽米町再生可能エネルギー発電の促進による農山漁村活性化計画(2017)
- ・軽米町地球温暖化対策推進実行計画

軽米町バイオマス産業都市構想 バイオマス活用イメージ

岩手県軽米町バイオマス産業都市構想の概要

